



神戸海星病院ニュース

KOBE KAISEI HOSPITAL

~SINCE 2003~

2012年
7月号
No.94

スポーツ整形外科にお越し下さい

整形外科 医長 星野 祐一

神戸海星病院・スポーツ整形外科外来は、この4月より前任の松本彰生先生に代わりまして、私、星野が担当させていただいております。診療時間枠を増やし（月曜日は16:00~18:00まで。予約制）、さらに多くのスポーツの怪我・障害で悩む患者様に来て頂けることを願っております。このたび、皆様に海星病院スポーツ整形外科をより知って頂きたいと考えまして、以下に情報をまとめさせて頂きました。これをご参考にお困りの際にはぜひ気軽にお越し頂ければ幸いです。

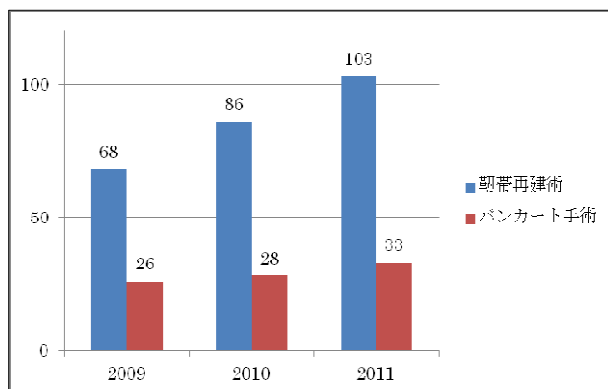
●神戸海星病院スポーツ整形外科の実績

スポーツの怪我の多くはリハビリなどの保存的治療で解決できますが、やはり整形外科として、最終的な治療手段としては手術的な治療になることもあります。

代表的なスポーツの怪我で手術になるものとしては膝前十字靭帯（ACL）損傷に対するACL再建術、肩関節脱臼に対するバンカート修復術、野球肘に対する肘関節尺側側副靭帯再建術、等が挙げられます。これらの手術の多くは手術によるダメージを最小に抑える関節鏡というカメラを用いた手術法で行っており、膝・肩・肘・足関節内の手術に用いています。

当院ではここ3年にわたりこれらの手術数は増加しており、中でも靭帯再建術は100例を超え、昨年には全国ランキングで28位（兵庫県で2位）^{注1)}とされております。

特にACL再建術に関しては、星野はこの手術治療の研究に関して世界最高峰であるピッツバーグ大学での研究をしてきております。神戸大学との協力体制の下、解剖学的二重束前十字靭帯再建術^{注2)}などの最新・最良の治療を提供していきます。件数の増加とともに手術前後のリハビリなど治療環境もより整備されてきておりまして、安心できる手術を提供できるようになっております。



関節鏡による手術件数の推移

●より精密な運動解析に基づく治療

手術だけでなく、保存的治療（主にリハビリ治療）もスポーツ整形外科の大事な治療の一環です。最新のHigh speedカメラなどの動作解析機器を用いて、走る、跳ぶ、投げるといったスポーツ動作での個々の関節や、下肢（もしくは上肢）全体、さらには全身の動きを調べています。全身の動作を解析することで症状のある関節のみならず、他部位の問題点も抽出し、それに対して筋力訓練やストレッチ、場合によりテーピングや装具などで動きを矯正させて治療していきます。



走行動作のビデオ撮影中

注1)：『週刊朝日MOOK 手術数でわかるいい病院2012』（朝日新聞出版、2012年）より

注2)：本来2つの主たる束でできている前十字靭帯を元通り2本で再建するという手術法（従来の方法では1本で再建していた）。

(～前ページからの続き～)

●スポーツ整形外科担当医紹介 星野 祐一



最後に私自身をご紹介させていただきます。2000年北海道大学を卒業後、スポーツ医学で有名な黒坂教授に師事し神戸大学に入局、約10年の研修のうち、米国ピッツバーグ大学に3年ほど留学し、ACLを中心としてスポーツ医学の研究をしてみいました。そもそもスポーツ医学を志すきっかけとなったのは大学時代のアメリカンフットボールの経験です(写真A・B)。(現在は甲南大学アメリカンフットボール部のチームドクターもしており、基本的に毎試合、現場に赴き、怪我の応急処置とその後の治療をサポートしています)。また、今年はアメリカンフットボール(U-19:19歳以下)世界大会

(米国テキサス州オースティンにて7月開催)の日本代表チームドクターに招聘され、参加してみいました。前回2009年大会では準決勝で激闘の末カナダに敗れるものの、3位決定戦に見事勝利しての世界第3位になっておりました。今回初めてアメリカを下して優勝したカナダに準決勝で敗れたものの、3位決定戦で完勝し2大会連続の銅メダルを獲ることができました。

このような経験と知識を踏まえ、スポーツチームの総合的なサポートも今後、より広い範囲で行っていこうと考えております。



Memories



A



B

(写真A・B)

アメリカンフットボール時代(34番)
1994-1997年ILBとしてPlay。
1996年北海道学生リーグベストイレブン
1997年北海道学生リーグMVP

アメリカンフットボール部のチームドクター/ゲームドクターとして試合に同行する星野医師



神戸海星病院・スポーツ整形外科では今後も最新の知見と技術を取り入れて、日進月歩のスポーツ整形外科の世界で最先端の治療を提供できるよう頑張っていきます。スポーツでお困りの際にはぜひ一度お立ち寄りください。

★神戸海星病院・スポーツ整形外科外来★

- ・月曜日：星野 16:00～18:00 (完全予約制)
- ・火曜日：星野 9:00～12:00
- ・木曜日：星野 14:00～16:00
- ・金曜日：藤田 14:00～16:00 (完全予約制)

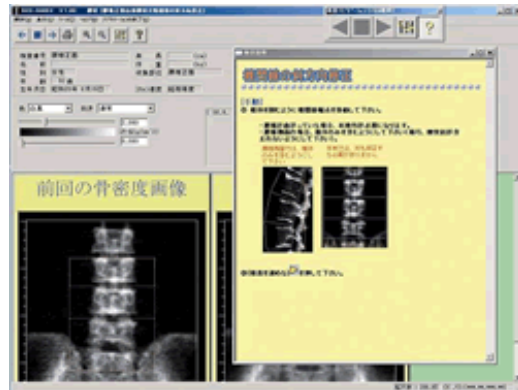
※ その他の曜日でも、随時受付していますので、一度ご連絡ください。
予約電話番号 078-871-5201(代表)



Q 1) 骨密度測定は、どのような装置で行うの？

【骨密度測定装置（DXA）】

骨密度測定装置とは、ごく少量のX線を使って腰椎や大腿骨などのカルシウムを測定することにより、骨粗しょう症を診断できる装置です。写真のように10分程度、仰向けになっていただくだけで終了します。測定結果は、検査終了後すぐにお渡しすることができます。



Q 2) 骨粗しょう症とは、どんな病気？

骨の密度がある一定の状態よりも低くなると骨粗しょう症と呼ばれます。骨量は、成長期に増え続け、20～30代をピークに加齢とともに減少していきます。これは一種の老化現象ですが、特に女性では閉経後、女性ホルモンの欠乏により急激に骨量が減少し、70歳ぐらいでは約半数の人が骨粗しょう症となります。

高齢化が進む中、骨粗しょう症が原因での骨折が増加しています。骨粗しょう症に伴う骨折の好発部位としては、下位胸椎・腰椎が最も多く、他に大腿骨頸部などの部位も転倒により骨折が起こり、寝たきりになってしまう人が多く見られます。現在90万人はいるとされる寝たきりの原因の第3位が骨粗しょう症による骨折が原因と言われています。

また、現在若年者においても、無理なダイエットや偏った食生活によって骨密度の減少をみとめる場合が増加してきています。

最後に・・・

冒頭にお示しましたとおり、骨密度測定には、エックス線を使用していますが、骨密度測定による被ばく量は、年間自然被ばく量の1日分にも満たないほどごく少量で、全く心配する必要はありません。

骨粗しょう症の患者数は、国内で推定1000万人。しかし実際に治療を受けているのは、200万人に過ぎないと言われています。

皆様が快適な老後をお送り頂けますよう、少しでも骨粗しょう症が気になりましたら是非、当院主治医にお気軽にご相談くださいませ。

骨を大切に！



ちょっと心配な体のことを、みんなで勉強してみませんか？

いきいき健康教室

医療スタッフと皆さまで、健康的な生活を送るために必要な知識を、勉強しましょう。
お申し込みは不要です。ぜひ、ご参加下さい。

場所：6階大会議室

曜日：毎週木曜日

時間：10時～11時

日時	テーマ	担当者
7月26日	物忘れ ～診断や生活支援について～	正田老人看護専門看護師
8月2日	予防接種のいろいろ ～大人も子供もしっかり予防接種を！～ 下記参照	安達医師
8月9日	メタボには運動が力なり	理学療法士
8月16日	脱水予防について	正田老人看護専門看護師
8月23日	検査について知りましょう	検査技師
8月30日	がんと診断を受けたら ～緩和医療にまつわる話～	がん化学療法認定看護師
9月6日	こう言われた時の食事⑩ ～貧血について～	栄養士
9月13日	糖尿病が少しわかる	糖尿病看護認定看護師
9月20日	転ばぬ先の身体づくり	理学療法士
9月27日	いつまでも健康生活	健康管理センター保健師



Information

★特別いきいき健康教室

開催日：2012年8月2日(木)10時～

場所：海星病院北棟6階 大会議室

演題：「予防接種のいろいろ」～大人も子供もしっかり予防接種を！～

臨時トピックス：不活化ポリオの定期接種について

講師：神戸海星病院 国際内科 安達 正時 医師 (小児科専門医)

【お問い合わせ先】：神戸海星病院 地域医療連携部 ☎078-871-5201 (代表)



予約不要
参加費無料

編集後記

いよいよ7月25日からロンドンオリ
ンピックが始まります。寝不足も始
まっちゃう・・・(汗)
がんばれ、日本！がんばれ、自分！
(☺)

神戸海星病院ニュース 7月号 2012年7月1日発行

医療法人財団 神戸海星病院
〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3-11-15
TEL 078 (871) 5201(代表) <http://www.kobe-kaisei.org/>
責任者 辻本 武志 編集責任者 森元 秀敏